

令和3年度後期 学生を対象とした授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名：人間の生涯発達		科目責任者または記入教員氏名：濱中 喜代
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・基礎科目
<p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。全体に高評価で成長過程について学びが多かったなど、概ね良好なコメントであり、安心しました。</p> <p>改善してほしい内容については事前学習についての評価についてご希望があったのですが基本多くの方は十分にできているのでそのように評価していました。今後さらに検討していきたいと思います。スライドについては学生のご希望があり、紙媒体で配布していましたが、クラスルームに入れてほしいとの意見もありましたので、今後はどちらにも対応していきたいと思います。</p> <p>新カリキュラムからは時間数が半減しますので、内容の精選をして対応したいと思います。</p>		

授業科目名：人間関係論		科目責任者または記入教員氏名：岡田 実
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・基礎科目
<p>NHKによる仕事の流儀シリーズを教材としながら、生の医療現場で展開されている患者とその家族、医療従事者間で展開されている相互関係に焦点を当てて、そこにはどんな関係が展開されているかを考察してもらいました。集中してメモを取りながら教材を視聴し、それをもとに制限時間内でレポートを作成する作業を7回求めましたので、時間内（自宅学習課題にはしていません）に考えをまとめて文字に絞り出す作業は大変だったと思います。まじめに取り組んだ皆さんはレポート作成の練習になったと思います。レポートの評価基準は考察の薄さと厚さです。</p>		

授業科目名：メンタルヘルス論		科目責任者または記入教員氏名：岡田 実
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・専門基礎科目
<p>総務省から公表されている動画の視聴を間に挟みながら、頻発しているメンタルヘルス上の諸問題（多くを取り上げることには限界がありますが）を提示しました。医療現場で特に問題となりやすい”虐待”問題は、小児・高齢者・障害者に分けて解説しましたので、法的手順や手続きがあることを知って欲しいと思います。</p>		

授業科目名：成人看護学概論		科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・専門科目
<p>全体的には、自己学習や演習など積極的に授業に参加しており評価に反映されていたように思う。</p> <p>成人期は非常に長い時期であり、各期の特徴を理解して看護することの大切さを意識して授業を行ったことが、そのことを多くの人に理解してもらえたと思う。また、資料についてはパワーポイントの内容をA4用紙に横書きして配付しているが、同様のものであること、全てを資料に載せているのではないことを説明してはいるものの、理解してもらえていなかったため、パワーポイントには載せないなど学生が混乱しないようにしていきたい。</p>		

授業科目名：看護理論		科目責任者または記入教員氏名：長谷川 幹子
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・専門科目
<p>授業評価アンケートでは全体的によい評価で、「教員の熱意」は4.0と最高点でした。きっと、みなさんが熱意をもって授業に臨んでくださったからだと思います。また、自由記述では、「看護理論について詳しく、幅広く知ることができた」に加えて「実習や演習に繋がる」や「ケアに活用できる」という記述も多くみられ、理論を実践に活用する意義についても理解を深められたことが推察されます。ぜひ、今後の演習や実習で役立てていただきたいと思います。</p> <p>「難しかった」という記述も見受けられましたが、みなさんの成績評価を見返してみてください。それは、みなさんが本科目の到達目標を達成できたことを示しています。自信をもってくださいね。</p> <p>今後も、1年生のみなさんにも理解しやすい講義内容や方法を検討していきたいと思っています。</p>		

授業科目名：人間と文化		科目責任者または記入教員氏名：相澤 出
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・基礎科目
<p>こちらが想像した以上に、いろいろ知ることが出来ておもしろかった等々の感想をいただき、うれしく思いました。それはさておき、資料のスライドが見つらなかった等、資料の見づらさに関するご指摘を多くいただきました。近年忙しさが増してきて、なかなか講義資料の全面的な改良に取り組めないのですが、今後、この点の改善に努めていきたいと考えております。</p>		

授業科目名：ボランティア論		科目責任者または記入教員氏名：相澤 出
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・専門基礎科目
<p>本講義は少人数での授業であったため、参加者に発言を求める機会がかなり多かったと思います。そういう点で気が抜けない講義ではあったのですが、受講者の皆さんは前向きに受講してくれました。講義をしている側としても受講者の反応がみえやすかったのもよかったです。ただ、講義資料がいささか多かったもので、その点を少し考えてほしいというコメントがありました。その点について、次年度には、部分的に見直しに着手してみようかと考えております。</p>		

授業科目名：生活援助技術論		科目責任者または記入教員氏名：作間 弘美
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・専門科目
<p>4項目すべてにおいて3.8以上の評価であり、特に「学生自身の取り組みについて」の項目において3.93の高評価であることは、皆さんが積極的に一生懸命取り組んだ姿勢の表れと考えます。</p> <p>授業への意見として大きく2つ挙げられました。一つ目は授業前後の課題の量ですが主な内容としては事例による看護記録の展開でした。この演習は生活援助実習を行うにあたり大変重要なものであり、昨年度までの意見を改善し今年度は実施しましたが、もう少し演習時間数を増やして行えるよう工夫していきたいと思います。二つ目は連絡の遅延についてでした。COVID-19の影響等により、授業の、特に演習の方法を変更しなければならないことがあり、連絡が遅くなってしまったところがありました。今後も情勢により変更が必要なことがあると思いますが、できる限り連絡調整を早めに行えるよう努めていきたいと思います。しかしながら、アルバイトのシフトについては検討できませんので、学業を優先に調整をご協力ください。</p>		

授業科目名：英語 I		科目責任者または記入教員氏名：Lester Ng
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生・基礎科目
<p>It was great meeting all of you and speaking English with you. Thank you for your effort in English class! It is important to keep practicing languages because they are easy to forget. So, keep practicing when you have time! You can do it!</p>		

授業科目名：疾病治療論 I		科目責任者または記入教員氏名：武内 健一
開講年度・時期	令和3年度後期	1年生 専門基礎科目
<p>私ども講義をする側には他分野、特に解剖学などの進捗状況が全く分からず、どこからお話をしたらよいのか大いに迷うことがあります。本来であれば、系統的に進んでゆくのが理想なのでしょうが、あっちこっちに飛んだりして、学生の皆さんはたいへんだと思います。</p> <p>また、使用している教科書は内容が豊富で最新の情報が盛られており、私個人的にはちょっと重荷になっているのではないかと危惧しております。講義ではある程度取捨選択してお話しを進めているつもりです。</p> <p>試験等に関しては過去の国家試験問題などを参考にポイントを把握して、基本的には覚えていただく試験、と位置付けているつもりです。</p>		

授業科目名：疾病治療論 I		科目責任者または記入教員氏名：高橋 浩
開講年度・時期	令和 3 年度後期	1 年生・専門基礎科目
<p>学生のみなさん丁寧にアンケートに答えていただきありがとうございます。アンケートを参考にまた講義についてはブラッシュアップしていこうと思います。</p> <p>私は医師になってから約 30 年、看護学生さんの指導するようになって約 20 年になります。担当する学校によって、教え方を工夫しているつもりです。皆さんのアンケートにもありましたが、この大学のカリキュラムでは私の担当する内科の分野を基礎的なことを復習しつつ国家試験にも対応できるような知識を身に付けるには講義時間が明らかに不足していると思います。そのために、皆さんに負担や“はしょった”ことによってついて来られない生徒さんを作ってしまう申し訳ないと思っています。とは言っても、大学の方からはテストは国家試験に準じた問題と指定されていたのでなかなかもどかしいところがありました。学生の皆様と大学の先生と相談して、今後の方針を決めていただければ従おうと思いますので、学生のみなさんも遠慮しないで学校と相談して欲しいと思っています。</p>		

授業科目名：病態生理学		科目責任者または記入教員氏名：遠山 稿二郎
開講年度・時期	令和 3 年度後期	1 年生・専門基礎科目
<p>正直に私の感想を書かせていただきます。あまりにも「質問」が無さ過ぎます。</p> <p>授業の難易度については、「分かり易かった」という声と「難しかった」という声があります。恐らく、どのような授業方法をとっても、すべての学生に満足できる内容となることは非常に難しいと思います。本来、授業は、「学生と私達、講師、双方で作っていくもの」なので、諸君の声が講師側に届く時間が短ければ短いほど、「より良い授業」がより早く実現します。そこで、「分かったふり」をせず、そして「後回し」にせず、疑問点、聞き取れなかった所は、必ず、授業中に質問し、「その場で」解決しましょう。あなたが疑問に思うことは、必ず他のクラスメートも疑問に思っているはず。授業中に質問することは、小さな一歩ですが、ほかの人の為にもなる大切なことです。きっと、良い、授業が作れると思います。私達・講師への積極的な支援をしてください。そして、理解した内容を記録する訓練を心がけてください。</p>		

授業科目名：人間の生と死		科目責任者または記入教員氏名：清水 哲郎
開講年度・時期	令和 3 年度後期	2 年生・基礎科目
<p>自由記述に出てきている限りでは、概して本授業科目により学んで欲しいこと、関心を持って欲しいことが挙げられており、当方が期待する学修をしてきているように見えます。が、それにしては 4 件法評価が低いのですが、双方向の授業というところがまだ不足しているのでしょうか。加えて、改善を要望する点の自由記述では、内容が難しい、声が聞き取り難い、説明が長すぎる等が挙げられており、それらもごもつとも、今後気をつけます。</p> <p>Zoom を希望する声が複数ありますが、これも考慮します。</p>		

授業科目名：家族看護論		科目責任者または記入教員氏名：濱中 喜代
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門科目
<p>授業評価アンケートにご回答ありがとうございました。全体に概ね良好な評価でした。家族看護について深く学べたとの記述が多くありました。レジュメが紙であったのでメモをとりながら授業を受けることができ良かったとの意見がありました。ビデオの活用への希望もありました。今後も学びが深まるよう、さらに教授方法を工夫していきたいと思います。</p>		

授業科目名：チーム医療論		科目責任者または記入教員氏名：相澤 出
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門基礎科目
<p>この講義は、チームや多（他）職種の連携について、理論的な部分まで掘り下げて解説したもので、特に前半の理論的な部分については、なかなかケアの議論に結び付けにくく感じた人も多かったと思います。しかし、多くの受講者が、毎回コメント、感想等を寄せてくれることから、関心をもって受講してくれたことが感じられました。反省点としては、クリーンに映し出される資料の読みにくさがあったという点です（複数の受講者から指摘をいただきました）。年々多忙さを増しているため、講義資料の全般的な作り変えの余裕がなかなかありませんが、出来る範囲で、なんとか改善に努めたいと思います。加えて、前の時間のふりかえりに時間をかけすぎではないかと指摘がありました。理解に時間をかける、できるだけ多くの質問に答えたいと考えて時間をかけましたが、たしかに講義全体での時間配分のバランスがよくないところがありました。これも見直していきたいと考えています。</p>		

授業科目名：生活習慣看護論		科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門科目
<p>全体的には、自己学習や演習など積極的に授業に参加しており評価に反映されていたように思う。特に、糖尿病に特化して講義や看護過程・演習を展開したことで、糖尿病患者の看護の理解につながれたと考える。今後も、様々な疾患のリスクとなる糖尿病に焦点をあてて構成していく。</p> <p>学生の意見として「課題が多い」が2件で、看護過程と演習課題であったが、課題の提示のタイミングと、提出日の提示が遅かったことによるものと思われる。今後は計画的に課題を進められるよう日程の調整を行っていきたい。</p>		

授業科目名：母性看護援助論		科目責任者または記入教員氏名：大谷 良子・佐藤 恵
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門科目
<p>母性看護学では初めて触れる内容や覚えることの多い科目です。そのため、授業では映像などの教材を使用しながら理解を促し、前後の予習、復習を通し効果的に学習ができるように授業を組み立てています。</p> <p>今後も教材の工夫や活用により授業での理解が進むよう心がけていきたいと考えています。さらに授業外での課題の取り組みによる予習や復習、教員への積極的な質問などの機会を有効活用し、主体的かつ意欲的な学修を期待しています。</p>		

授業科目名：小児看護援助論		科目責任者または記入教員氏名：下野 純平
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門科目
<p>授業評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。</p> <p>回答を拝見し、多くの方が小児看護に興味を持ち、理解を深めてくださったことを嬉しく思います。</p> <p>授業の内容が量的に多かった・スピードが速かったという回答がありました。授業内容に関しては、小児の特徴をより理解していただくために、一般的な知識を確認したうえで小児の特徴を教示するという授業構成をとっておりますが、今後、アンケート結果を基に、次年度の授業内容の構成を検討していきたいと思ひます。</p> <p>スライドが見えづらかったことについては次年度改善していきたいと思ひます。</p> <p>配布資料に載せず、授業スライドのみに載せている情報のほとんどは、大学の図書館にある参考書から引用しております。授業内でもお伝えしていますが、授業中にスライドを完璧にうつすことができなかつた場合は、ご自身で調べてほしいと思ひています。調べてもわからないことに関しては、是非、教員に直接お尋ねください。</p> <p>また、小児の特徴をより理解できるよう、授業教材として動画を用いることを検討していきます。</p>		

授業科目名：精神看護援助論		科目責任者または記入教員氏名：長南 幸恵
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門科目
<p>本講義は、オムニバス形式のため各教員の教授内容や配布資料に対する評価が分かれる結果となりました。皆様のご意見を基に改善に努めたいと思ひます。科目責任者としては、用語や理解が難しい精神看護に少しでも関心を持って、理解が深まるよう今後も講義内容を工夫していきたいと考えています。</p> <p>Covid-19の感染防止対策から一部ZOOM形式での講義となりました。感染状況にもよりますが、可能な限り対面で行いたいと考えています。</p> <p>自由記載では、学生に顔を近づける教員がいたようですので感染予防の観点からも改善したいと思ひます。</p>		

授業科目名：健康とスポーツ		科目責任者または記入教員氏名：栗林 徹
開講年度・時期	令和3年度通年	2年生・基礎科目
<p>この授業科目を履修して、今後改善してほしいと思う点で以下の意見があった。  「もうすこし実技増やして欲しい。」  回答：「健康とスポーツ」は健康に関する知識の習得と健康増進に関する実践力養成を目的としており、講義の時間数は最低限8コマ必要と考えています。  講義の内容を吟味し、講義に対する興味をより喚起したい。</p>		

授業科目名：疾病治療論Ⅲ		科目責任者または記入教員氏名：菅野 啓一
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門基礎科目
<p>#1：限定された時間内での講義かつ広大な範囲のため  要約された講義に努めます</p> <p>#2：国家試験を念頭に入れた内容は、必要不可欠ゆえ予習ないし復習は大学生として  お願いします</p> <p>#3: 大学での講義ゆえ、担当範囲内での問題（抱えている問題）を提示します  回答がありませんが、一緒に問題を共有してもらえると幸いです</p>		

授業科目名：臨床薬理学		科目責任者または記入教員氏名：片倉 久美子
開講年度・時期	令和3年度後期	2年生・専門基礎科目
<p>&lt;よかったと感じた点について&gt;</p> <p>○受講した多くの皆さんが、授業や課題問題に真面目に取り組み講義内容を理解しようと意欲的な姿勢が感じられました。良かった点について、多くのコメントを頂き担当者として喜ばしく思います。</p> <p>○身近な新聞記事の紹介から、薬を服用する患者の身体・心理面を合わせた薬に関する作用機序・副作用などの理解につながると考えている。今後も継続します。</p> <p>&lt;改善点について&gt;</p> <p>○教科書と資料が中心の講義から、説明にゆとりを持たせてメモが取れる時間を作ります。</p> <p>○課題問題プリントは、予習を意図として出題していますが、取り組む姿勢にばらつきがあるため、積極的に学習に役立ててもらうために今後は評価に加えます。</p> <p>○課題問題を復習テストにとの要望から、今後は学びの確認に小テストを考えます。</p>		

授業科目名：エンドオブライフケア論		科目責任者または記入教員氏名： 清水 哲郎
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・統合科目
<p>4件法授業評価の結果は概ね好評でした。自由記述を合わせ考えますと、人生の最期という高齢者がすぐ思い浮かぶが、小児の場合についても学べてよかった、といったものが散見され、3名の教員により、様々なエンドオブライフのあり方に目を向ける機会となっていることがよかったようです。学外から小児科の医師にゲストとして来ていただき、具体的に体験されたこととお話いただいた点も印象に残ったようです。</p> <p>また最後に事例検討をグループワークでしたことを挙げた記述も多く、双方向の授業内容になったことが満足度につながっているとも思われます。</p> <p>今後も、グループワークの進め方や発表の仕方など、自由記述も参考にしながら、工夫をしていきます。</p>		

授業科目名：急性期看護技術論		科目責任者または記入教員氏名：土田幸子、石井真紀子、吉岡智大
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・専門科目
<p>まずは皆さんが「急性期」や「周術期」にある対象の特徴と必要な看護について、興味を持って授業を聞いてくれたと理解しております。今後はさらに工夫をしながら学習意欲を掻き立てるような授業設計を検討していきます。</p> <p>改善点は、授業資料が回によって偏りがあったという意見を受けて、各回の資料が同等の内容となるよう改善します。また一方通行な知識の伝達に終始しないよう、発言の機会を設ける、大切な単語は書き込んでもらえるように検討していきたいと考えております。</p> <p>また技術演習前の事前課題が過度な負担にならないよう、そして課題の解答が授業の中で確認できるよう、検討していきます。看護過程のグループワークについても、時間内で効果的に成果がまとめられるよう、記録用紙を検討したいと考えております。</p> <p>皆さんの意見にもありましたが、直後に控えている成人看護学実習Ⅱの学習に効果的な授業展開となるよう、引き続き検討していきます。(文責 石井)</p>		

授業科目名： セクシャルヘルスアセスメント		科目責任者または記入教員氏名：江守 陽子
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・統合科目
<p>人体のメカニズムや、生理的変化などまずは自分の体を通して知ることが大事です。体温の変化も、排尿量も、実際に自分で測定し、アセスメントしてみましょう。</p> <p>看護基礎課程の科目（母性看護学概論、援助論、技術論、実習）では、詳しく触れることのできない内容について扱っています。しかし、看護する際はぜひ知っておいてほしい内容ばかりです。楽しんで、主体的、意欲的に学修されることを期待します。</p>		



授業科目名：地域看護援助論		科目責任者または記入教員氏名：鈴木 るり子
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・統合科目
<p>使用教科書「地域看護学」の改訂版の遅れから、大幅な内容の違いはないものの、記載ページの違う教科書で学ぶことになり、不便をかけたと考えている。</p> <p>次年度は改訂版の教科書で授業ができることになっていることで改善できると考えている。</p> <p>地域看護活動は、多くの関係法規との係りがあることから、次年度は、小テストを取り入れ学びを強化したいと考えている。</p>		

授業科目名：保健医療福祉連携論		科目責任者または記入教員氏名：鈴木 るり子
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・統合科目
<p>看護職にとって必要とされる、保健医療福祉連携について、事例を中心に展開したことで、学びを深められたと考えている。</p> <p>また、授業中に実施した小レポート、小テストについては、時間的余裕がないと受講生に感じられたようである。次年度にはこの反省をいかし、もう少し余裕のある形で実施したい。</p>		

授業科目名：地域看護学概論		科目責任者または記入教員氏名：鈴木 るり子
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・統合科目
<p>使用教科書「地域看護学」の改訂版の遅れから、大幅な内容の違いはないものの、記載ページの違う教科書で学ぶことになり、不便をかけたと考えている。</p> <p>次年度は改訂版の教科書で授業ができることになっていることで改善できると考えている。</p> <p>地域看護学概論は、看護師の地域理解を深めるための技術と展開方法を学ぶ科目で、多くの関係法規と係りがある。講義でも関係法規について強化していきたいと考えている。</p>		

授業科目名：在宅看護援助論		科目責任者または記入教員氏名：大沼 由香
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・統合科目
<p>学生授業アンケート評価は受講学生58名中、回答者数43名、回答率74%でした。相対的に高評価でした。1.学生自身の取り組みは3.71で、最も評価が高かったのは、「意欲的に授業に参加」3.81、「授業を受けるマナーを守る」3.77でした。授業に熱心に取り組んでいただきありがとうございました。2.授業内容については3.79で、最も評価が高かったのは「授業の満足感」3.84、「授業の内容に興味関心がもてる」3.81でした。3.授業の技法は3.82で、最も評価が高かったのは「教材や板書の使い方」3.86「テキストや資料の活用」3.84、4.総合評価は3.78で、「教員の熱意を感じられた」3.86、「相対的に満足」3.79、「この科目で得たものは多かった」3.77でした。自由記載では、在宅看護について詳しく学べた、授業が分かりやすい、ゲストスピーカーの話がよかった等が多くみられました。一方もっとも低い評価は「授業の自己学習」3.58でしたので、予習や復習の促しを行う必要を感じました。改善点についての自由記載では、リアクションペーパーの記載時間がもっとほしい、演習時、グループ別の説明時に教員の声が聞こえにくい等がありました。リアクションペーパー内容を調整し、授業時間内で記入できるように注意します。演習での幕の使用やグループごとの間隔をあけるなど改善していきます。</p>		

授業科目名：調査と統計		科目責任者または記入教員氏名：大井 慈郎
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・基礎科目
<p>まず、数多くの学生が、自由回答の欄に授業に対する好意的なメッセージを書いてくれたこと、素直にうれしく思います。ありがとうございます。</p> <p>全学生が課題を全て提出してくれましたし、ほとんどの学生が無遅刻無欠席であったことから、学生側もしっかり取り組んでくれていたと思います。</p> <p>本学に限らず、看護学部は調査・統計関係の授業数が少ないため、情報量が多い授業であったと思います。加えて、実習前の期間に授業を消化するので、大変だったと思います。各自の進捗に合わせて見直しができるように教材ビデオを作成したり、コメントペーパーへのレスポンスの形で前回の不明点を確認したりといった授業用意についても、好意的なコメントいただけましたこと、感謝しています。ただ、直接の質問の順番が回ってこないことについては、TAの設置といった科目責任者1人では対応できない問題であるため、検討課題とさせていただきます。</p>		

授業科目名：放射線看護論		科目責任者または記入教員氏名：野戸 結花
開講年度・時期	令和3年度後期	3年生・統合科目
<p>6名の学生から、2日間の集中講義では集中力が持続せず大変であった旨のご意見を頂きました。遠方の講師のためにご希望に沿う改善策を講じることが難しいです。講義内容を、集中力が途切れないような構成になるように工夫します。また、2日間の集中講義であり、そのことを十分理解した上で選択をして頂けるように、シラバスに掲載します。講義内容は2名の講師間で内容の重複が少なくなるように見直しますが、放射線の基礎知識については繰り返し耳にすることで自分の中で整理されていきますので、一部知識の重複については、意図的であることをご承知おき頂ければと思います。スライドの提示時間については、今後、時間を十分取るように留意します。</p>		

授業科目名：臨床倫理		科目責任者または記入教員氏名：清水 哲郎
開講年度・時期	令和3年度後期	4年生・統合科目
<p>4件法授業評価で低かったところは、授業内容の量的適切さ、授業および授業科目の満足感でした。本授業科目で時間を多く割いている、学生が臨地実習で出会った事例をもちよってグループワークで臨床倫理的検討をするところは、概ね好評のようでした。</p> <p>自由記述でもこれに言及して、ジレンマを考える、検討シートで考えるといったことを評価する記述が目立ちました。ただ、4年後期という国家試験をかかえる時期に授業が組んであることへの疑義等も出されており、このような条件が総合的満足度の評価が低いことにつながるのかもしれない。</p> <p>今後、授業時間割に関する工夫などにより、授業に取り組みやすくし、また、内容的にも臨床現場に出ていく4年生にとって有用だと理解しながら学修できる工夫をします。</p>		

授業科目名：救急看護論		科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
開講年度・時期	令和3年度後期	4年生・統合科目
<p>受講者全員が、積極的に授業に参加してくれ、総合的にこの科目への満足度が高かった。今後も、演習やグループワークを交え、卒業後の実践に生かせるようにしていきたい。</p>		

授業科目名：国際看護		科目責任者または記入教員氏名：土田 幸子
開講年度・時期	令和3年度後期	4年生・統合科目
<p>今年度は、前半は1名の教員がリモートで、後半は専任教員がオムニバスで実施した。</p> <p>全体的には、「オムニバスということで様々な先生の経験談を聞けたり、グループワークで様々な意見が聞けたことは良かった」や「教員の熱意が伝わった。」という肯定的な意見が多かった。</p> <p>しかし、評価はレポート課題で3名の教員が提示したことに対し、「8回の講義に対して4つのレポートは多いと思います。4年生の後期という時期を考えて欲しい」という意見が3件あったが、「レポートが多いという意見が多かったが、個人的には全然負担に感じない。むしろ理解を得られる。というよりこのくらいのレポートできなければいけないと考えた。」という意見もあり、計画的に課題を達成していただいた学生もいたことがわかった。次年度は、他の科目の進度を考慮したうえで、レポート課題を検討していきたい。</p>		